



3年4組 永田 和暉 さん 関東大会出場

水泳部の永田君が、7月23日～25日に行われる関東大会への出場を決めました。この大会で全国大会の出場標準記録を突破すると、8月17日から行われるインターハイ(於広島) 2年連続出場を達成できるそうです。

以下はインタビューしたときの内容です。

Q水泳を始めたのは?

A幼稚園のころ、スイミングクラブに通い始めました。小学校6年の頃、選手養成コースに入れてほしいと思うようになったのですが、タイムが遅くて、入れてもらえませんでした。でも、中学に入って水泳部で活動を始めると先輩に強い選手がいて、一緒に練習していく中でタイムを伸ばせるようになりました。中三の時、全国を狙える成績を残せるようになってきました。

Q中学の時の戦績はどうだったのですか?

A中三のとき全国大会に出場しました。でも、全国では通用しませんでした。

Qそれだけの戦績を残していれば、水泳の強い学校に行こうと思わなかったのですか?

A強い選手が多いなかでやっていけるのか、勉強との両立ができるのか、いろいろ考えて、水泳を思い切りやりきりたいと思って、金総を選びました。正直、一年次の時は、ここで良かったのか、と思うこともありました。今は、金総の伸び伸びとできるのが良かったのかな、と思っています。

Q昨年度もインターハイ出場していますね?

A昨年のインターハイは、何も知らないまま出場した感じです。自己ベストより1秒かかって、全国で25番目の成績でした。

Q今回の関東大会での目標は?

A全国の前哨戦だと思っています。強い選手も多く出場します。納得のいく泳ぎ、タイムを出したいと思います。悪くても、全国大会の標準記録は突破したいと思います。

Q普段の練習は?

Aスイミングクラブが中心です。火曜以外の日に練習をしています。冬場は一回の練習で8千から1万泳いできました。現在は、泳ぎの質を高めて5千から6千泳いでいます。

Qどのくらいのタイムなのですか?

A100が1分4秒78、200が2分16秒87がベストです。(全国出場標準記録を超えています)

Q今年の全国に向けての抱負は?

A昨年より今年はレベルが上がって、決勝に出るには、1～2秒タイムが上がっていますが、

決勝で戦いたいと思っています。

Q最後に、水泳の魅力は?

A泳いでみないと、自分の調子がわからないところ。会場での応援はすごいけど、スタートの一瞬、静寂になるところ。個人競技だけど仲間の応援が力を与えてくれるところです。

関東も全国も遠いところで行われるため、応援にはなかなかいける人は少ないとは思いますが、納得のいく泳ぎ、タイムを出せるよう祈っています。がんばって!



アマチュア将棋全国大会 優勝 卒業生(8期生)の渡辺誠さん

6月26日に行われた第29回アマチュア竜王戦の全国大会で、本校の卒業生の渡辺さんが初優勝しました。昨年の同大会では、準優勝でしたが、昨年度決勝で負けた相手に見事に雪辱を果たした見事な優勝です。

金総在学時にも、棋道部に所属し、全国大会に出場、優勝の経験もあったそうです。卒業後も精進を続けたその成果があがったのでしょうか。卒業生が活躍することは、大変うれしいことですし、勇気付けられる気がします。

「みそあじか」の「か」

「ありがとう」という言葉、日本語のなかで素敵な言葉の一つだと思います。担任や部活動の顧問をしていると、卒業式の日いっぱい頂きました。その言葉で、また、次の一年を頑張ろうと思ったものです。

人は一人では生きていくことはできません。多くの人に支えられて、やっと生きていけるものだと思います。人から何かをしてもらって、毎日生きていくわけです。ならば、感謝の気持ちを持って、謙虚に暮らしていきたいものだと思います。

「ありがとう」の言葉をもらえると、元気や勇気が出ませんか?感謝の気持ちを伝えられた時に、受け取る側も感謝の気持ちを感じます。また、感謝の言葉は、それだけで人と人との信頼を深めてくれるような気がします。そう考えると「ありがとう」は、魔法のような言葉かもしれません。金総が「ありがとう」が飛び交う学校であってほしい、と思います。